

# 植物微生物研究会 第6回研究交流会

## プログラム

---

10月3日 (第1日目)

8:45 受付開始

9:10 挨拶と諸連絡

### 【一般講演】

- 9:15 1. 根粒菌溶原性ファージの宿主菌染色体への組み込みに関する遺伝子について  
○内海俊樹、阿部美紀子、東 四郎 (鹿児島大・理・生物)
- 9:30 2. ダイズ根粒菌のDNA再編成 –DNA再編成の証拠と共生領域のマッピング–  
○伊沢 剛<sup>1</sup>、三上朋子<sup>1</sup>、板倉 学<sup>1</sup>、南沢 究<sup>1, 2</sup>  
(<sup>1</sup>茨城大学農学部、<sup>2</sup>東北大学遺伝生態研究センター)
- 9:45 3. ダイズ根粒菌における根粒形成遺伝子の水平伝達  
○南沢 究<sup>1, 2</sup>、伊沢 剛<sup>1</sup>、遊橋健一<sup>1</sup>、市毛秀則<sup>1</sup>、鈴木雅子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>茨城大・農、<sup>2</sup>東北大・遺伝生態研)
- 10:00 4. カウピーグループに属する*Bradyrhizobium*属根粒菌の遺伝的多様性  
○安藤象太郎・横山 正  
(<sup>1</sup>国際農林水産業研究センター・<sup>1</sup>農業生物資源研究所)
- 10:15 5. 根粒菌共生プラスミド (pSym) のアグロバクテリウムへの移入  
○東 四郎、川村亮一、内海俊樹、阿部美紀子 (鹿児島大・理・生物)
- 10:30 6. レングソウ根粒菌*fdxA*遺伝子のクローニング：*Rhizobium*にも7鉄型フェレドキシンは存在するか？  
辻口佳子、○佐伯和彦 (大阪大院・理・生物)
- 10:45 休憩
- 11:00 7. Possible Al tolerance mechanisms of *Bradyrhizobium japonicum* –experimental observations–  
○S. K. Mukherjee and S. Asanuma (九州農業試験場)
- 11:15 8. 窒素固定細菌*Azospirillum lipoferum*の窒素源に応答した窒素固定能の制御  
○井上暁夫、重松 亨、日高真誠、正木春彦、魚住武司  
(東京大・農・応用生命工学)
- 11:30 9. 窒素固定能制御因子NifAタンパクのC末端領域の機能の解析  
○重松 亨、小山 亮、井上暁夫、日高真誠、正木春彦、魚住武司  
(東京大・農・応用生命工学)
- 11:45 10. イネと窒素固定細菌との関連について

3. 窒素固定細菌の試験管内におけるイネ幼苗への接種  
○宮丸直子、西村隆雄、服部一三（名古屋大・農・植物遺伝育種）

12:00 昼食（世話人会）

13:30 11. *Arbuscular*菌根菌由来アルカリホスファターゼの基質特異性と  
共生的糖代謝における役割  
江沢辰広（名古屋大・農）・○齊藤雅典（草地試験場）

13:45 12. *Vibrio fischeri* 由来の *lux* オペロンを用いた生物発光病原細菌の宿主植物  
における挙動解析 - *Pseudomonas cichorii*, *P. solanacearum* について -  
○曳地康史、那須佳子、奥村亜子、豊田和弘、鈴木一実、堀越 守1、  
廣岡 卓1（岩手生物工学研究センター、1日本農薬株式会社総合研究所）

14:00 13. 土壌中におけるGUS標識根粒菌数の測定  
皆川律子、山田信也、磯田香保里、佐藤孝、大竹憲邦、○大山卓爾、  
南沢究1, 2、遊橋健一2、赤尾勝一郎3（新潟大・農、1茨城大・  
農、2東北大・遺伝生態研、3農業生物資源研）

14:15 14. イネ白葉枯病抵抗性遺伝子の相加効果  
○加来久敏（農業生物資源研究所）

14:30 15. 植物病原細菌 *Xanthomonas* 属細菌の多型解析  
○落合弘和、加来久敏（農業生物資源研究所）

14:45 休憩

#### 【特別講演】

15:10 「*Xanthomonas*属細菌の植物病原性関連遺伝子について」  
露無慎二（静岡大学 農学部）

15:55 「窒素源の有効利用と腸内微生物」  
辨野義巳（理化学研究所 ライフサイエンス培養生物部）

16:40 講演終了

17:10 懇親会

---

## 10月4日（第2日目）

#### 【一般講演】

9:00 16. ピーナツ根の表皮脱離について：根粒菌感染との関わりについて  
○上田英二、赤坂庸子1、大門弘幸1  
（大阪府大・先端科学研、1大阪府大・農）

9:15 17. ダイズ根の根粒菌感染防御反応におけるアミノオキシダーゼの機能  
○澤本真奈美、小澤隆司（大阪府大・農）

9:30 18. ダイズにおける2つのウリカーゼ遺伝子発現

○高根健一、河内宏1、田島茂行（香川大・生物資源科学、1 農業生物資源研）

- 9 : 45 19. 根粒着生植物におけるc-AMP  
○寺門純子、岡村昌道、臼井健二、米山忠克（筑波大学、農研センター）
- 10 : 00 20. E135根粒におけるプロテアーゼ活性  
○菅沼教生、加藤友美、前田裕貴（愛知教育大・生命科学）
- 10 : 15 21. 根粒を多く着生するダイズ品種  
池田順一（東北農業試験場）
- 10 : 30 休憩
- 10 : 45 22. 根粒形成に異常を示す11系統のミヤコグサ (*Lotus japonicus*) 突然変異体  
○今泉（安楽）温子、川口正代司、赤尾勝一郎1、庄野邦彦  
（東京大・教養・生命環境、1 農業生物資源研）
- 11 : 00 23. ダイズ根粒菌s32の品種特異性に関する研究：  
線虫抵抗性ダイズ品種に特異的な成分について  
○佐藤哲也、平野稔昌、田崎弘之、伊藤晃1  
（帯広畜産大・生物資源化学、1 十勝農協連研究所）
- 11 : 15 24. インゲン種子分泌物による根粒菌の増殖：品種間及び菌株間比較  
○加藤孝太郎・有馬泰紘・平田 熙（東京農工大・農）
- 11 : 30 25. インゲン種子分泌物中の根粒菌増殖支持物質  
加藤孝太郎・有馬泰紘（東京農工大・農）
- 11 : 45 昼食
- 13 : 00 26. *Gigaspora margarita*によるarbuscular菌根形成に対する  
フラボノイド化合物の影響  
○俵谷圭太郎、高橋牧子、我妻忠雄（山形大・農）
- 13 : 15 27. The role of isoflavonoid on nodulation control in soybean.  
○C. A. Asis, Jr.1, N. Sato2, K. Isobe2, M. Kubota1,  
K. Minamisawa1, and S. Akao3. (1Ibaraki Univ., 2Nihon Univ., 3NIAR)
- 13 : 30 28. 非マメ科植物に存在する根粒形成遺伝子の発現誘導物質について  
佐藤典子, 磯部勝孝, 藤井秀昭, 坪木良雄, ○赤尾勝一郎1  
（日本大・生物資源科学, 1 農業生物資源研）
- 13 : 45 休憩
- 14 : 00 29. Nod factor のシグナル伝達に及ぼす各種カルシウム阻害剤の効果  
○横山 正・河内 宏・安藤象太郎1・加来久敏  
（農業生物資源研究所, 1 国際農林水産業研究センター）
- 14 : 15 30. IAsysを用いたジャガイモ細胞膜の疫病菌グルカン受容体タンパク質の解析  
1. CDPK抗体結合タンパク質ーリガンドとグルカンの結合解析  
○古市尚高、青柳雅昭1、加藤美紀（新潟大・農、1 日生産業S1センター）
- 14 : 30 休憩

14:45 総合討論

15:30 総会

16:00 閉会

---